

平成20年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第62回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成20年 5月31日(土)	ひたちなか市総合運動公園体育館	大会1日目	Cコート	第2試合 10:30~																				
<チームA> 県立甲府西 山梨 2位		70 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>1Q</td><td>17</td></tr> <tr><td>2Q</td><td>20</td></tr> <tr><td>3Q</td><td>15</td></tr> <tr><td>4Q</td><td>18</td></tr> <tr><td>合計</td><td>70</td></tr> </table>	1Q	17	2Q	20	3Q	15	4Q	18	合計	70	93 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>1Q</td><td>17</td></tr> <tr><td>2Q</td><td>28</td></tr> <tr><td>3Q</td><td>24</td></tr> <tr><td>4Q</td><td>24</td></tr> <tr><td>合計</td><td>93</td></tr> </table>	1Q	17	2Q	28	3Q	24	4Q	24	合計	93	<チームB> 習志野市立習志野 千葉 4位
1Q	17																							
2Q	20																							
3Q	15																							
4Q	18																							
合計	70																							
1Q	17																							
2Q	28																							
3Q	24																							
4Q	24																							
合計	93																							

【Bブロック】

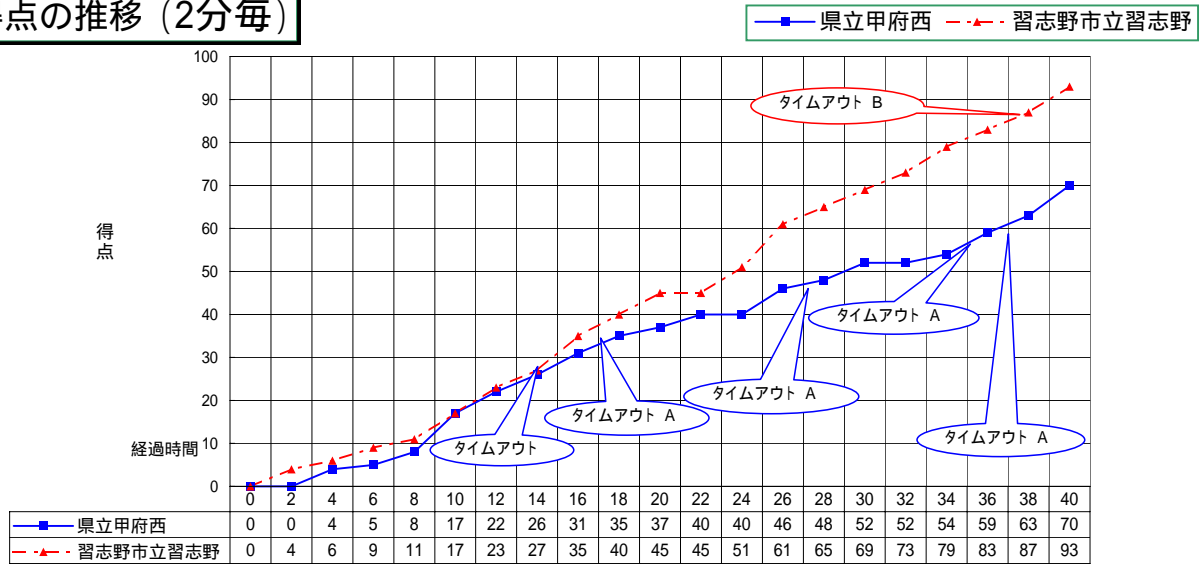
主審： 渡部 智聡(茨城) 副審： 梶 崇司(茨城)

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	窪田 誠明					1
	5	長田 泰馬					
	6	長谷川 智弘	9		4	1	2
	7	松永 光貴	7		3	1	5
	8	田中 新					2
	9	岡本 尚					1
	10	名執 邦彦					
	11	清水 湧	19	1	7	2	
	12	佐野 海斗	7		3	1	2
	13	坂上 将太	3	1			5
	14	太田 祥平	1			1	
	15	長谷川 拓					
	16	遠藤 卓也	19	4	3	1	1
	17	前島 祐介	2		1		
	18	海野 佑基	3	1			2
コーチ		逆瀬川 慶浩					
合計			70	7	21	7	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	藤澤 圭佑	30	1	12	3	2
	5	小澤 琢弥	5	1	1		1
	6	白井 拓也	27	2	9	3	2
	7	種谷 佳祐	4		1	2	1
	8	田中 雅人	10		2	6	3
	9	福島 茂貴	3			3	
	10	相内 聡					2
	11	宮澤 優作	6		3		1
	12	西 雅隆	5		1	3	2
	13	音羽 亮佑	3	1			1
	14	長久保 明斗					
	15	河合 裕二					
	16	細貝 航平					
	17	新木 隆寛					
	18	原目 光					
コーチ		内田 雅康					
合計			93	5	29	20	

：スターター / ：出場 / 3P:3点シュート成功本数 / 2P:2点シュート成功本数 / FT:フリースロー成功本数

得点の推移 (2分毎)



戦 評

記入者： 山戸 剛

第1P、両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。ともに硬さからか、ターンオーバーが続いたりゴール下のシュートをはずしたりと思うように得点が伸びない。終了2分前、緊張がとれてきたのか、シュートが決まり得点が動きだした。17 - 17でピリオド終了。
 第2P、習志野はリバウンドからの速攻で2ゴールを決め勢いに乗る。甲府西は、流れを変えようと3分半を過ぎたところでタイムアウト、ディフェンスを2 - 3のゾーンディフェンスに変える。奏功し一旦は逆転したが、6分半を過ぎたところで追いつかれ逆転される。ここで、甲府西2回目のタイムアウト。しかし、流れは変わらず37 - 45の8点差、習志野優位で前半を終える。
 第3P、甲府西の2 - 3ゾーンディフェンスが機能し、流れを引き戻したかに見えたが、習志野 白井が3pシュートを契機に流れは習志野へ。習志野 白井は、ディフェンスではブロックショット、オフェンスではタップシュートを連続で決める活躍を見せ、得点差を17点に広げ(52 - 69)ピリオドを終了した。
 第4P、習志野は 白井の2pシュートやファウルでもらったフリースローで着実に点差を広げ、優位に試合を運んでいく。追いつめられた甲府西は4分半と6分過ぎにタイムアウトを取り、1 - 2 - 2のゾーンプレスなどでプレッシャーをかけていくが、最終的にはリバウンドを支配した習志野が点差を広げる形でゲームを終了した。